



地域の繋がり

P T A 会長 林崎 功

令和四年度の P T A 会長をおおせつかりました。本来このような大役ができる器ではないことは十分承知しておりますが、子どもたちのために微力ではございますが精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

P T A 会長になるまで気づかなかったのですが、地域の方々は、まるで我が子のように子どもたちを見守ってくれています。

地域の大人達を繋げてくれるのは子ども、そして岩泉町の大切な宝です。

そんな大事な宝を、過保護になり過ぎないように、時には厳しく鍛え、上手に磨き上げるのが P T A の役割なのではないかと思えます。

そのためにも、保護者の皆様や先生方そして地域の方々と協力しながら運営していきたいと思っておりますので、ご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。

それぞれの地域の思いが詰まった学校

校長 鈴木 雅孝

昨年度末、大川小学校と釜津田中学校の閉校式に出席しました。児童生徒数は少ないながら、集まった地域の方々の多さに驚き、学校や子どもたちに対する思いの強さを感じる一日となりました。

岩泉中学校には、地域の宝である数々の学校が統合されてきた歴史があります。現在においても、本校は、特色あるそれぞれの地域で育まれた子どもたちをお預かりしており、その多様性を尊重し合いながら切磋琢磨する学校でありたいと思っております。

様々な文化や考え方を背景にもつ彼らは、愛すべき個性を皆が持っており、それぞれの違いを認め合い、仲間から気付きを得ながら、新たな価値を創造してほしいと願っています。

コロナや人口減少など、正解が見えにくい課題が多い現代において、多様性は強みとなります。地域の思いが詰まったこの岩泉中学校が、未来をつくる生徒たちが大きく力を伸ばす学校であるよう、教職員一同、努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

保護者の皆様から寄せて頂いた体育祭の感想を紹介します。

三年赤軍 小野寺 貴幸さん (信幸)

体育祭を参観させていただくようになって七年。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、校庭にも近づけず…。

子どもから準備の状況を聞く機会も無く、当日になって急遽『今年で最後。』と思い直し、見に行くことに。

かなり遠方からの参観。選手宣誓も聞こえない。競技をしている我が子が分からない。

『あれか？違う！』を繰り返しながら、競技は進んでいく。

『そういえば組団長やってるはず。ってことはあれだ。頑張ってるじゃん！』

両軍とも学年の垣根が無く、お互いに声を掛け合って、それでいて、三年生は自信を持って自らが手本となるべく動く。勝っても負けても両軍とも、笑顔・必笑。

お疲れ様。さあ、中学校生活はもう少し。頑張って苦勞して、春には「必ず笑顔」を。

二年赤軍 澤口 恵美さん (冬夢)

初めて観る岩泉中学校体育祭は、迫力と躍動感に溢れ、夢中で見入ってしまった。と言うのも、私共は四月に本校へ転校して参りました。前年度は小川中学校に在籍しており、全校生



徒二十九名でした。勿論、少人数ならではの良さもありますが、大人数だからこそ出来る事、応援歌も多種にわたり見所満載でした。個人的には二つ印象に残りました。

一つ目は応援合戦。恐れ多い事ですが転校して一か月余りで副組団長をさ

ENJOY ～今しかできない青春を!～

せていただく事になり、不安と緊張でいっぱいでしたが、いざ本番。堂々と大役を務める姿を見て、安堵し胸が熱くなりました。二つ目は戦略的リレー。生徒たちで順番と距離を考えたのだと聞いて感心させられましたし、いい勝負で思わず興奮して声を出して応援してしまいました。

来年は最高学年。ラストに相応しく、大いに盛り上げ、皆笑顔で楽しんで体育祭を迎えてほしいな…。と思います。

一年赤軍 長崎 千寿子さん (乃々佳)

コロナ禍で練習にもあまり参加できなかったり、職場の関係もあり体育祭も休まなければいけないかも…と、心配ばかりしていた娘にとって初めての体育祭。天気にも恵まれ無事に開催され参加する事ができました。

何度、観戦させていただいても、子供たちの一つ一つに本気で取り組むキラキラした姿に、成長を感じながら感動をもらっています。

練習時間の少ない中で、家に帰ってくる心配や不安をこぼしていた娘でしたが、当日頑張っている姿を見てホッと、入学して間もない間に、たくましくなったなあと感じました。二、三年生の先輩方の指導力、学年の団結力を目の当たりにし、成長できたのではないかと感じました。

一つ一つの行事を経験し、一学年の団結力も高め、子としても成長を楽しみにしています。

三年青軍 佐藤 育男さん (巧乃介)

私の息子は三年生で、今年が最後の体育祭となりました。体育祭までには、様々な要因が重なり、生徒が全員揃っての準備や練習の時間があまり確保できず、少ない限られた時間のなかで、体育祭を成功させるためにはどうしたらよいか、日々悩んでいる息子の様子を目にしました。体育祭当日は、平日ということもあり、参観、応援の方々は少なく感じましたが、晴天に恵まれ、最高のコンディションとなりました。開祭式が始まり、これまで息子が悩んでいた光景が脳裏をめぐり、内心「体育祭上手いくかな？大丈夫かな？」と思いました。しかし、競技が進むにつれ、体育祭は大いに盛り上がり、各軍に別れ「笑顔」「必笑」に向かって取り組む岩中生を見ているうちに、私の気持ちは一転、「やるじゃん岩中生！」と変わっていききました。体育祭スローガン「ENJOY」も今しかできない青春を！を競技する生徒、応援する人々がともに体感し、感動した近年稀にみる最高の体育祭だったと思います。(親バカですみません)

最後になりますが、このような最高の体育祭に導いていただきました校長先生をはじめとする諸先生方、職員の方々に心から感謝申し上げます。

二年青軍 三上 博さん (優音)

私は釜津田中学校が閉校になり、岩中のPTAの一員となります。これから、よろしくお願ひします。

さて岩中の体育祭の感想という事で書かせても

体育祭



らいます。まず岩中の体育祭を見て最初にびっくりしたことは生徒の人数の多さに感動しました。自分の子供は岩中の生徒と一緒にやっていけるか心配でした。でも岩中の中にとけこんで一生懸命頑張っているので安心しました。また体育祭の種

目は私が思っていたものとは違っていました。そして各学年ごとの長縄跳びの競技は練習の成果が出た競技でした。でも各学年の生徒は一生懸命やっていましたね。そして最後のリレー競技は見ていてびっくり、生徒たちで走る長さを決めての対決でありました。最後まで応援していました。楽しかったです。最後になりましたが、生徒共々、これからお世話になります。よろしくお願ひします。

一年青軍 北川 俊成さん (龍成)

中学生になった息子の、初めての体育祭という事で、親子共々楽しみにしていました。特に息子は副組団長ということもあり、応援歌練習や競技の練習も気合を入れて頑張っていたようでした。体育祭当日も良い天候に恵まれ、最高の体育祭日和になったと思います。競技では、スクリーンドラゴンや三人四脚などチームワークを発揮し協力し合う姿を見ることができ、競技中の応援や応援合戦での、一人一人声が枯れそうなほど大きな声で一生懸命応援する姿は、練習の成果を感じる迫力があるものでした。最後のリレーでは、各々が一杯走り、仲間にバトンをつなぐ白熱したレースで中学生らしい力強さを感じました。そして、体育祭を終えて感じたのは、目標に向かって努力し、責任感を持って取り組む子供たちの成長でした。日々成長していくかれらの、来年の体育祭が今から楽しみです。

中総体を終えて

卓球部

本年度の卓球部は1、2年生各5人、3年生6人の総勢16人で「県大会出場・初戦突破」を目標に日々活動してきました。迎えた6月中総体、結果は団体戦準優勝、個人戦で畠山君が第五位と、先ずは県大会出場の目標を達成してくれました。この大会で感じたことは、選手たちは試合中、接戦になっても劣勢になっても最後まで諦めず戦っている姿があり、その試合を勝ち切った選手たちの成長ぶりは頼もしく、また誇らしく感じたところです。県大会でも同様の試合を繰り広げ見事初戦突破の目標を達成。この試合も一進一退の接戦に保護者も緊張の応援となりましたが見事勝利を収めてくれました。次の試合も同様の接戦に、残念ながら負けはしましたが選手たちの成長が見られた試合だったと思います。生徒たちは部活動を通じ、技術向上とともに仲間との信頼関係や連携など大きな財産を得たと思います。この貴重な財産を自信として次の目標に積極的にチャレンジしてもらいたいです。

(三上訓一さん 3A滉矢)

サッカー部

サッカーは、11人で戦うスポーツです。でも、岩中サッカー部は、令和2年度の新人戦からは9人で戦うなど、11人に満たない中での試合をしてきました。普通は、一方的に負けてしまう試合を想像してしまいがちですが、岩中サッカー部は、毎回引き締まった、とても良い試合をしていました。試合を見ていて、保護者全員が感動していましたし、最後まで応援したくなる試合をしてくれました。

このことは、船越先生、工藤大樹コーチの日頃のご指導の賜物であり、保護者一同感謝しております。この場であらためてお礼申し上げます。

さて、令和4年度に入り、新1年生を迎えチームは16人体制になりました。接戦となる試合も更に増えて、最後の中総体では、2勝2敗の戦績を残すことができました。

これまでチームを引っ張ってくれた3年生は引退の時期を迎えます。3年生の今後の活躍を祈念しつつ、僭越ですが、私の「個人的見解」で3年生7人を紹介させていただきます。キーパーから順に紹介します。

GK 應家瑠玖君。パントキックの飛距離がハンパないのです。これには味方も追いつけないこともあるとか。

DF 應家翔太君。炎のサイドバック。相手チームも彼とのデュエルにはビビるのであります。

MF 小野寺信幸君。両利きのゲームメーカー。しかもロングシュートもある。東洋のルカ・モドリッチ。

MF 三上泰知君。朝8時に起きても学校に遅刻しない男。きっと、アディショナルタイムに強いのだろう。

MF 浦場丈太郎君。絶妙なクロスは必見。中田英寿以来のキラーパス。キラー過ぎて味方も追いつけないこともあるとか (パートⅡ)。

MF 三上奈瑠君。抜群の瞬発力。縦に早いドリブル。ゴールに迫る飛び込み。もはや伊東純也なり。

FW 佐藤巧乃介君。言わずと知れた猪突猛進の男。最後まで戦う姿勢には涙腺が崩壊するのであります。

長文にお付き合い頂きありがとうございました。最後に、岩泉中学校の生徒の皆さん、ご家族の皆様のご健勝をお祈りして結びといたします。

(三上智さん 3A泰知)

バスケットボール部

地区中総体では、3位入賞という素晴らしい結果を残してくれました。1日目に勝たなければ、この結果にも繋げることはできませんでした。キャプテン、部長を中心に、2日目の宮古西中との準決勝もチームが一つになり、最後の最後まで全員全力であきらめることなく、3年生5人がコートで戦い、ベンチでは先生方、コーチ、1・2年生が声をかけ続けてくれました。3年生の親としても、最後に本当に良い戦いを見ることができ、表彰式まで見ることもできて、3年間、応援してきて本当に良かったと思っています。このように思えるのも、翔先生、小川中の畠山先生、今村コーチのあたたかいご指導と、いつも子供達に寄り添い支えて下さったお陰であり、心より感謝しています。本当にありがとうございました。

(箱石めぐみさん 3A優月)

文化部

今年の文化部は、佐々木恵里子先生のご指導のもと、1年生3名、2年生5名、3年生8名の計16名で活動しています。活動内容は、体育祭や文化祭のポスターを製作して各地域に掲示したり、中総体に出場する運動部に応援のポスター制作をしたり、文化祭やコンクールに出品する作品制作に取り組んでいます。

今年の中総体の各部への応援ポスターは、写真を使ってポスターを制作しました。

運動部とは違い表立った活動内容ではありませんが、学年や男女関係なくみんな仲良く活動し、縁の下の力持ち的な立ち位置ではありますが、楽しんで活動しているようです。

先日の福祉まつりにもボランティアとして参加し、あいにくの天気ではありましたが手伝いをしながらも楽しく活動したようです。

学校内外の活動を通して、色々な経験をし人生の糧となって成長していったら嬉しいです。

(中川原忍さん 3A颯春)

バレーボール部

中総体を終えて、結果は惜しくも準決勝で敗退し、中総体県大会には行けませんでした。コロナ禍で練習、練習試合が制限され思うように練習ができない中、限られた練習や、練習試合、親子での練習試合を見ていて、みんな笑顔が絶えなくて最高のチームだと思いました。中総体でも粘りがあり学年関係なしにミスをして励まし合い、得点を獲ればみんな喜び合い、観客席で見ていた私たちにも心に残る最高のゲームを見せてくれてありがとう。3年生は最後の試合になり、笑顔の裏には悔しい気持ちもあったかと思いますが、バレーで培った粘り強さ、一つの事をみんなで成し遂げる気持ちを大切に次のステップに進んでもらいたいと思います。1・2年生は新人戦に向けて団結力のある岩中バレーをまた見せられるよう今後の活躍を期待しています。

(小原孝史さん 3A楓那)

ソフトテニス部

6月18日、個人戦。19日、団体戦。とても暑い2日間、中学校最後の中総体。

「頑張って！」と元気に見送った反面これが終われば引退なんだと思うと少しさみしくなりました。

思えば、テニスの事をまったく知らないまま1年生で入部。毎日、疲れた顔で帰宅する姿を見てみると、3年間続ける事が出来るのかと心配ばかりしていました。その心配をよそに、楽しい顔も見られるようになり、不安も安心に変わりました。

時には、先輩や仲間とトラブルもありましたが、今では良い思い出になりました。

指導して頂いた先生やコーチにも感謝です。

何よりもよく頑張った！と娘をほめてあげたいと思います。

(落瀬澄子さん 3A結香)

野球部

今年は3校連合で、コロナ拡大の影響あり冬の練習も思ったようにできませんでした。

一緒に練習できる時間も、練習試合も減る中で、3校団結し、『地区大会優勝』を目指して活動してきました。

地区中総体では、自分達のミスもあり、勝つ事はできませんでした。

一人一人が今持っている力を出し、3校が一つになって戦う姿を見て感動しました。単独チームでは感じる事のできない、良い経験となり、それぞれの今後の学校生活、次のステップに生かされる事と思います。

これまで子供達を指導していただきました先生方、子供達がベストの状態活躍できるようにフォローしていただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。

最後に、新人戦は4校連合となり大変だと思いますが、それも良い経験になると思います。皆さんの活躍を楽しみに応援しています。

頑張れ岩中野球部！！

(鈴木正章さん 3A巧真)

5 / 2 5 体 育 祭





4/23 1学年授業参観



7/2 親子奉仕作業





6/28 花いっぱい運動



5/30 ごみ0大作戦

